

## 第6学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年12月5日(水) 5校時 (13:40~14:25)・音楽室

2. 議題 「心が一つになるような集会をしよう」(集会活動)

< 学級目標 >

「心」

けじめ 団結力 笑顔

3. 議題について

### (1) 児童の実態

本学級は、とても素直で相手の言葉や気持ちを受け入れてあげられる純粋な子どもたちが多い。4月当初は自分に自信がなく、思いを言葉で伝えることが難しい子が多数いたり、自分中心で物事を考えてしまい、集団の中でトラブルになり団体行動が難しい場面が見られたりした。伝えたい思いはあるのに「言語的解決能力の低さ」から消極的になってしまうことと、「相手に対する思いやりや関心の低さ」から深くかかわろうとしないことが課題としてあった。しかし、根は優しく相手に対する思いがある子どもたちなので、指導を続けていくなかで成長していくことを信じている。どんな小さなことでも相手に伝えるように声をかけたり、友達とかかわる機会を増やしたりして指導を続けていく中で、少しずつではあるが前向きに人とかわるようになってきている。さらに、共に成長していける喜びを感じてほしいと強く願っている。学級目標の「『心』 けじめ 団結力 笑顔」には、34人それぞれが個々の気持ちを抱えているが、その一人一人の思いを大切にしながら心をつなげていきたいという願いが込められている。そして、心をつなげるためにはけじめをつけた学校生活、仲間とつながる団結力、笑顔で楽しむ気持ちが大切だという思いを乗せてこの学級目標を決めた。

話し合い活動は、これまでに5回、集会は2回経験してきている。今回が集会活動3回目となる。7月に「1年生に梅ジュースパーティーのお礼をしよう」という議題で話し合った時には、一生懸命1年生のことを考え、温かい気持ちを伝え合う様子が見られた。それまで話し合いでなかなか自分の意見が伝えられなかったり、歩み寄れなかったりした子も、全員が意思表示をできたことは大きな成果となった。集会1回目、10月に行った「前期最後にみんなで協力して楽しく遊ぼう」の話し合いでは、出し合う時に外とするものと中とするものが混在しており、するものを決めるだけで時間がかかってしまった。遊びの工夫があまり出ず課題として残ったが、屋台のように3つの遊びコーナーに分けて実践することに決まり、役割分担決めから実践にかけては、めあて通り協力しながら行えた。集会2回目、11月に行った「逃走中」では、前回外ですることが決まっていた「逃走中」について、「みんなで力を合わせられるようなルールや工夫を考えよう」とし、工夫に重点を置いて話し合った。「チームでミッションをクリアしたらつかまっている仲間を開放してもらえるルールはどうか。」といった、クラス全体で力を合わせて楽しもうと考えた発言が多く見られた。実施後は、予想通りに進まなかった歯がゆさや役割分担にも配慮が必要だったことが反省として挙げられたが、集会を計画・実現する喜びを感じ、課題を次に生かそうとする姿が見られた。今後の話し合い活動・実践でも、互いに歩み寄る姿、自分の思いを表す姿を期待すると共に、子どもたちの中で成功体験を積み重ねていきたい。

## (2) 議題選定の理由

今回の議題「心が一つになるような集会をしよう」を選定した理由は、クラスにとって最大の目標である学級目標の達成に向けて、それに近づきたいという思いが、子どもたちの心にあるからである。学級の子もたちは未だに、この目標に対しての個々の温度差がある。その気持ちの差を今回の議題をきっかけにうめていけることを期待している。今まで2回の集会は「笑顔」をねらいとし、楽しい遊びを続けて行ってきた。その成果として、多くの子どもたちが「笑顔」が始めの頃より増えていると実感している。今回は「心を一つにする」ことをめあてとすることで、さらに一歩踏み込み、ただ楽しくて笑顔になるだけではなく、「心を一つにする」ことで喜びの「笑顔」、「心を一つにする」ことでまとまりの「団結力」と学級目標に近づけるのではないかと考え、本議題を選定した。

本議題では、子ども一人一人が考える「心を一つにする」ことがどういうものなのかを共有し、違いも認め合いながら話し合い活動を行った。今までに仲間と心が一つになったと思った活動として、組体操、稗原太鼓、地区別運動会、大縄、修学旅行が挙げられた。そこから「一つの目標に向かってみんなが一生懸命に活動する姿」や「みんなが一人一人のことを大切にしたり分かってあげようとしていたりする姿」が「心を一つにする」ことだという思いを確認し、話し合い、準備、実践の中で全体が良い集団として高まっていくことを期待している。中には集団の高まりまで意識がまだいかず、楽しければいいという考えの子もいるが、全員で一つのことを目指す喜びや達成感を味わわせられるようにしたい。また、成功体験から自己有用感を得たり自己表現意欲が高まったりすることを期待し、声かけや指導を続けていきたい。

## 4. 評価規準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級会	学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。
集会活動	楽しく豊かな集会活動にするために、自主的に取り組もうとしている。	見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。	集会活動の意義や運営方法について理解している。

## 5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動

～「なすことによって学ぶ」共に歩む姿をめざして～

### 高学年のめざす子どもの姿

- 自分の思いや考えを持ち、自分の言葉で伝える子【自分に自信をもてる姿】
- 仲間を大切に思い、共に支え合おうとする子【仲間と共に歩もうとする姿】
- 自ら考え判断し、行動に移せる子【自分たちの生活は自分たちでつくっていくという姿】

【自分の思いや考えをもち、自分の言葉で伝える子】(自分)

○「話し合い活動カード」の活用(事前 学級会)

議題と提案理由や話し合いのめあてを伝え、議題に対する自分の考えをしっかりと学級会に臨めるようにする。児童の振り返りに励ましのコメントをしたり、現在の自分や学級の課題について気が付けるような支援をしたりする。

○話し合い活動の進め方台本(事前 学級会)

話し合いの手順や台詞がある台本で流れをイメージすることで、誰もが自信をもって準備することができるようにする。また、司会グループで相談する中で計画を立てるようにする。

○話し合いの可視化(事前 学級会)

出された意見を短冊に書き、色を変えて示したり、名前の顔マークを使ったりして、話し合いの流れをつかみやすくする。黒板の記録を見れば今何について話し合っているのか分かるようにする。

○発言についての指導(常時)

相手の思いに対して自分が何かを応えることを目指せる環境づくり(様々な活動後の感想交流や、集団としてそれを受け止める心の指導など)を意識し助言する。ただし、個々の発達段階を十分考慮し、一步一步の成長を認め価値付けていけるよう丁寧に支援する。

○振り返り活動(集会活動 本時)

集会のねらいや一人一人のめあてを意識しながら、今回の実践を通してどうだったのか、感じたことや考えたことなどを伝え合ったり、準備から集会活動までの仲間の頑張りや行動、姿勢などに目を向けて認め合ったりする時間にする。

【仲間を大切に思い、共に支え合おうとする子】(仲間)

○「話し合い活動カード」の活用(事前 学級会)

「話し合い活動カード」で話し合い活動を終えての自己評価や感想、また次に向けての反省を書けるようにする。そして実践活動にも生かされるようにする。グッドさんでは、友達を認める場として、友達同士がつながる場として大切にする。

○教師の助言(事前 学級会)

実態に応じた助言内容と、そのタイミング(その場ですぐか、振り返り時にするか、今ではないのか)を考え助言する。

○「聴き合い」の指導(常時)

話を聴くということは、相手を大事にすることであり、話し合い活動においても、とても重要なことであるということを、学級活動に限らず日々指導をする。

○集会活動の役割分担と準備(事前)

実践に必要な役割について考え、一人一人が役割を受けもち、協力して準備に取り組むことができるようにする。また、準備する際にはみんなのことを考え、仲間とかかわりながら取り組むことができるようにし、活動する楽しさを実感できるようにする。自分の役割以外にも目を向けて、仲間のために相談し合ったり、手伝ったりして、「心をついに」を意識して34人のかかわりをもつことができるようにする。

【自ら考え判断し、行動に移せる子】(生活)

○司会グループへの指導(事前)

司会や記録の内容に期待感をもたせ、進んで取り組めるようにする。また、学級会を自分たちでつくって

いくという意識をもたせ、それを学級の友達に自分たちで伝えられるようにする。どのような学級会が1組にとって一番いいのか考えられるようにする。

#### ○話し合いの可視化（事前 学級会）

話し合いグッズを準備し、出された意見を短冊に書いたり、意見を出した際には自分の顔のマークを黒板に貼ったりして話し合いの流れや友達の思いが分かるようにする。「出し合う→くらべ合う→まとめる」を一つの流れとすることで、見通しをもって進められるようにする。

#### ○教師の助言（事前 学級会）

今回の話し合い活動は「何のためのものなのか」「心をつなげるためのもの」そこから意識がはなれたときには自分たちで問題を解決していけるよう助言する。

#### ○実践活動（本時）

集会のねらいや一人一人のめあてを意識しながら活動し、自分たちで決めたことを自分たちの力でやり遂げることができるようにする。集会活動を通して、達成感を得られるようにし、次に生かすことができるようにする。

#### ○集会の振り返り（事後）

集会活動の前に書いた目指したい姿や個人のめあてに対してどうだったか、一人一人がカードに記入する。また、互いの振り返りを共有できるように教室に掲示するなどして、児童同士のつながりを深めるとともに次への活動に生かす。

## 6. 活動の実際

### （1）事前の活動

活動の場	活動内容	支援（○）と評価（☆）
11月初旬	・学級目標を振り返る際に「心をつなげることができるような活動をしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしたいのか考えて意見をもつよう促しておく。 ☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。  (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月13日（火） 中休み	・議題を集め話し合いの議題を選ぶ。	○今回の議題が「心をつなげたい」ということを提案者に確認する。 ☆寄せられた議題の中から議題を選ぼうとしている。  (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月14日（水） 中休み	・司会グループと提案者で柱と話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1 ・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○学級会の日時を伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを考えるように促す。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆話し合いに向けて、進んで準備に取り組もうとしている。  (集団活動や生活への関心・意欲・態度)



		<p>☆教師とともに話合いの進め方や話合いのめあてを考えている。  (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆話合い活動の準備や進め方を理解している。  (集団活動や生活についての知識・理解)</p>
11月16日(金) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。</li> </ul>	<p>○話し合う内容や提案者の思いを伝え、「一つの目標に向かって一生懸命に活動する姿」を目指したいという思いを共有できるようにする。  ☆議題に対して関心をもっている。  (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
11月21日(水) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを話合い活動カードに記入する。</li> </ul>	<p>○一人一人が話合いのめあてを意識した自分の考えを書けるようにする。  ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。  (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月26日(月) 中休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会グループと提案者で話合いの流れを確認する。</li> </ul>	<p>○出された意見を伝える。  ○めあてを再確認し、話合いの流れをイメージできるようにする。  ☆話合いに向けて、進んで準備に取り組もうとしている。  (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>☆話合いの進め方や話合いのめあてを考えている。  (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月27日(火) 学級会	<ol style="list-style-type: none"> <li>はじめの言葉</li> <li>司会グループの紹介</li> <li>議題の確認</li> <li>提案理由の確認</li> <li>話合いのめあての確認  「心が一つになるような集会をしよう」</li> <li>柱1(何を)  「心が一つになること」</li> <li>柱2(どのように)  ルールや作り方の工夫</li> <li>決まったことの確認</li> <li>グッドさん</li> <li>振り返り</li> <li>先生の話</li> <li>おわりの言葉</li> </ol>	<p>○司会が話合いの進め方などつまずいた際には、助言する。  ○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話合いが行き止まった際には助言する。  ☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えている。  (集団の一員としての思考・判断・表現)</p> <p>○話合いのめあてを意識した発言や仲間の思いを受け止めた発言、司会グループの頑張りを称賛し、意欲的に実践に向かうことができるようにする。</p>

柱2：決まったこと

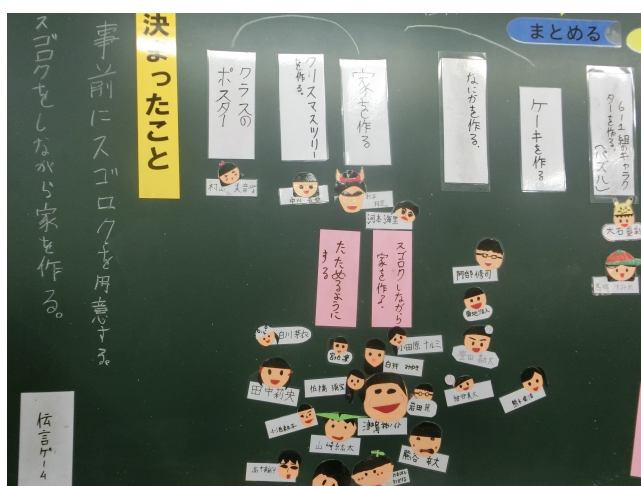
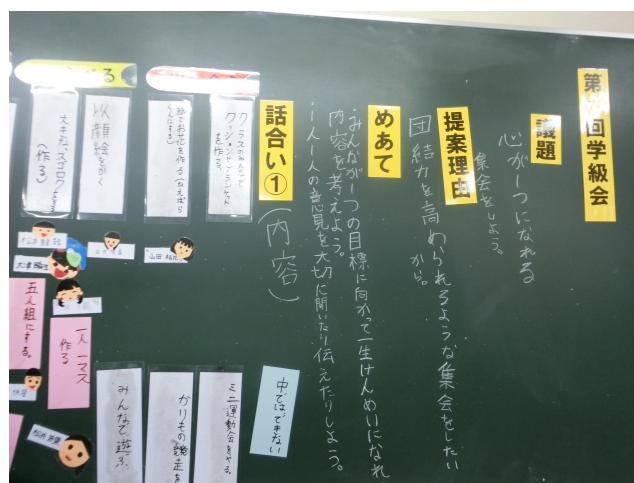
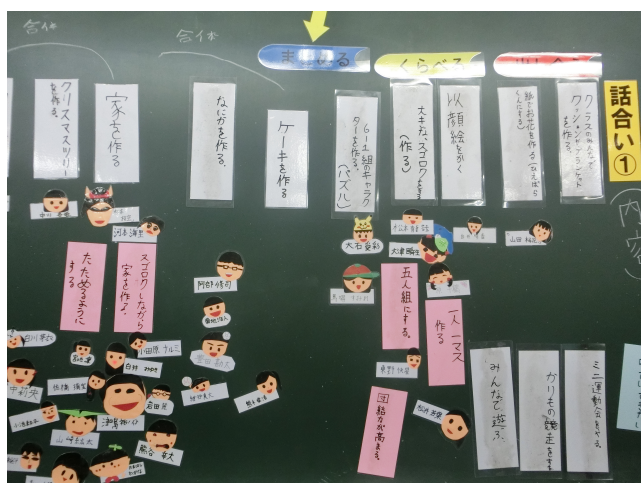
- ・すごろくを事前に用意する。
- ・一人一人がコマになる。
- ・グループで進む。
- ・設計図をあらかじめ作る。
- ・材料をみんなを持ち寄る。
- ・最後にポスターを飾る。

柱1：決まったこと

- ・すごろくをしながら、家(6-1いこいの場)を作る。

<p>11月28日(水) 朝の会</p>	<p>・集会を実施するために必要な係の分担をする。</p>	<p>○これまでの集會を想起させ、必要な係や役割を全員で分担できるようにする。 ☆集會活動の意義や運営方法について理解している。 (集會活動や生活についての知識・理解) ☆集會の準備に進んで取り組もうとしている。 (集會活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
<p>11月28日(水) 朝の会</p>	<p>・集會のねらいのもとに、準備や集會活動での自分のめあてを書く。</p>	<p>☆集會実施に向けためあてを一人一人立てている。 (集會の一員としての思考・判断・表現)</p>
<p>11月28日(水) ～ 休み時間</p>	<p>・係ごとに活動計画を立てて準備する。</p>	<p>○これまでの経験を生かして、もっと心が一つになるための工夫ができるように助言する。 ☆集會活動に向けて、自分の役割に責任をもって取り組んでいる。 (集會の一員としての思考・判断・表現)</p>

学級会の板書



## (2) 本時の活動

### ①ねらい

「心を一つにする」という集会のねらいを意識し、役割を果たしながら集会に参加している。

### ②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
1. はじめの言葉 2. めあての確認 「心が一つになるような集会にしよう」 3. 6-1 いこいの場  すごろく	<p>○一人一人のめあてを見える場所に掲示する。</p> <p>○「心が一つになる」というねらいとそれをもとに考えた個人のめあてを確認する。</p> <p>○計画やめあてに沿って、自分たちの力で運営できるように見守り、必要に応じて声をかける。</p> <p>○一人一人の役割に応じた準備をする様子を見守り、足りない点などがあれば助言する。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈児童の役割〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○司会…当日の司会・運営</li> <li>○ルール説明係…ルールの説明</li> <li>○プログラム係…プログラムの作成</li> <li>○サイコロ係…サイコロ作り</li> <li>○すごろく係…すごろくのマスの作成</li> <li>○設計係…家の設計</li> <li>○建築係…材料の大きさや色の準備</li> <li>○掲示・環境係…飾り等</li> </ul> </div> <p>☆話合いで決定したことを受け、ねらいを意識しながら集会活動に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: center;">(集団の一員としての思考・判断・表現)</p>
4. 振り返り  5. 先生の話 6. おわりの言葉	<p>○集会のねらいや目指した自分の姿、友達の頑張りなどを中心に振り返りができるように見守る。</p> <p>○ねらいである「心を一つに」を意識して活動することで得られた喜びを実感させるとともに、学級目標にも立ち返って振り返ることができるようにする。</p> <p>○これまでの準備や集会活動を通して、ねらいを意識した取組について具体的に認めるようにする。課題があった場合には伝え、今後に生かせるようにする。</p>

### (3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援（○）と評価（☆）
12月6日（木） 朝の時間	・振り返りを書く。	○集会を通して、自分の役割やなりたい姿に対してどうであったかという視点で振り返りを書き発表する。 ☆活動に対する自分の取組や活動を終えての自分や学級の様子を振り返り、次に生かそうとしている。 (集団の一員としての施行・判断・実践)